平成23年1月24日

各 位

上場会社名　第一中央汽船株式会社
代表者　代表取締役社長執行役員 小出　三郎
（コード番号　9132）
問合せ先責任者　執行役員企画グループ長 堀越　正幸
（TEL　03-5540-1910）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月22日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	135,000	9,000	6,000	6,000	23.43
今回発表予想(B)	132,000	4,500	1,000	1,500	5.86
増減額(B-A)	△3,000	△4,500	△5,000	△4,500	
増減率(%)	△2.2	△50.0	△83.3	△75.0	
（ご参考）前期実績（平成22年3月期）	111,842	△4,496	△5,388	△3,877	△15.14

修正の理由

【損益】 当社グループの主たる事業である外航不定期船市況は、第2四半期累計期間までは総じて堅調に推移しておりましたが、第3四半期以降、特に年末からは、豪州北東部の洪水による石炭の出荷停止により大型船を中心とした市況が大幅で急激に下落しておりますので、営業利益・経常利益・当期純利益ともに減少すると見込みました。また、本第4四半期の特殊事情として、海外子会社所有の船舶の日本籍船化による為替評価損の発生を見込んでおりましたが、為替が想定よりも円高に推移したため為替差損が増えたことにより経常利益を減少して見込んでおります。なお、当期純利益には、海外子会社の所有船1隻の売船益を特別利益として織り込んでおります。

今後につきましても、外航不定期船市況は、先行き不透明な状態が続いておりますが、中国・インド等の新興国向け原料輸送をはじめ、海上輸送の実需自体は底堅く、いずれ実需を反映した市況レベルに回復すると見ております。しかしながら、期待される市況回復の速度が緩やかで、早期かつ大幅な回復が見込みにくい場合を想定したことから、上記のとおり損益を下方修正いたしました。

【売上高】 売上高については、為替が想定より円高で、外航不定期船市況は大幅に下落しておりますが、燃料油価格が上昇傾向にあること、扱い船が予定より増えたことにより若干の減少と見込んでおります。

第4四半期の為替、燃料油価格の前提は以下のとおりです。

	平成23年1月～平成23年3月
為替レート（円／ドル）	¥82.00
燃料油価格（トン当たり）	$575.00

（燃料油価格　ボンド油180cst　京浜補油ベース）

※ 上記の予想は発表日現在、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上